

平成26年度当初予算 予算要求シート

整理番号	38 - 012	マスタープラン 3つの挑戦	—	マスタープラン 施策番号	3 - 4	局・課名	教育委員会事務局・教務課
区分	新規・拡充 —						(単位 千円)

事業名	特別支援教育事業	平成24年度決算額	平成25年度予算額	平成26年度要求額	
関連事業	教育委員会事務局 小学校教育環境整備事業	事業費	194,243	185,138	223,928
	教育委員会事務局 中学校教育環境整備事業 教育委員会事務局 地域人材活用事業	事業期間	H ~ H	全体事業費	
事業目的	今年度要求のポイント				
障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導の充実と支援体制・相談体制の確立		小中学校支援学級に在籍する児童生徒の増加に対応するため、介助員の配置を拡充する。国のインクルーシブ教育システム構築の動きを踏まえ、早期からの教育相談や交流及び共同学習等の充実を図る経費を要求する。			
事業内容	主な要求内容 (単位：千円)				
○支援学級付き介助員、支援学校地域支援補助員の配置 ○特別支援教育体制整備の推進 ・発達障害児巡回相談による校内支援体制の構築 ・特別支援教育専門家チームの設置による教育相談体制の充実 ○支援学校のセンター的機能の充実 ・自立活動アドバイザー（言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士）の派遣 ○医療的ケアを必要とする子どもの宿泊学習参加を支援（看護師派遣、リフト付きバスの借上げ料差額の支援等） ○就学・進学相談体制と就学後のフォローアップの充実 ・就学指導委員会の開催、就学指導専門員の配置 ・早期支援コーディネーターの配置、幼稚園早期支援員の派遣 ○小中支援学校合同学習発表会等の開催 ○発達障害理解推進拠点事業 ・授業のユニバーサルデザイン化による授業改善（4校） ○支援学校の交流及び共同学習の充実 ・支援学校交流及び共同学習推進員の配置等	項目	25年度予算	26年度要求額	内容・積算等	
	介助員、地域支援補助員	172,238	202,104	賃金、旅費	
	特別支援教育体制整備	2,411	2,478	報酬、報償費、消耗品費	
	小中支援学校宿泊学習支援事業等	1,210	1,370	賃金、旅費、報償費、使用料	
	就学指導、早期からの教育相談支援事業	2,426	4,866	報酬、賃金、旅費	
	合同学習発表会開催業務等	2,832	3,104	報酬、旅費、使用料、委託料	
	研究会負担金	380	262		
	発達障害理解推進拠点事業等	3,420	8,864	賃金、報償費、旅費	
	免許法認定講習会関係	221	344	報償費、使用料	
	堺病院院内学級移転経費	0	375	消耗品費、通信運搬費、備品	
	特別支援教育研修	0	161	報償費	
	その他				
	合計	185,138	223,928		
スケジュール（経過及び今後展開）			その他 特記事項		
【経過（～25年度）】 障害のある子どもへの支援、相談体制、教育環境の整備、支援学校のセンター的機能の充実、教員の専門性向上			【今後（27年度～）】 障害のある子どもへの支援、相談体制、教育環境の整備、支援学校のセンター的機能の充実、教員の専門性向上		
【26年度】 障害のある子どもへの支援、相談体制、教育環境の整備、支援学校のセンター的機能の充実、教員の専門性向上					